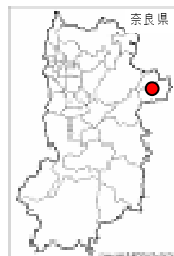


御杖村特集



中山間地域を襲う災害に備えて(桃俣防災団)

桃俣地区は、51年前の「伊勢湾台風」で村で最も被害が甚大で、現在でも頻繁に土砂災害等に遭うなど、元々、区民の防災意識が高い地域です。中山間地域で積極的に活動される自主防災組織の中野富美男団長にお話を伺いました。



伊勢湾台風で被害のあった桃俣地区

道路が寸断



桃俣公民館まつりでの防災講習会



集会所掲示のマニュアルを説明する桃俣防災団長の中野富美男さん

取材での一問一答

【1】地域で最も懸念している災害とその影響は何ですか？

最も懸念している災害は、土砂災害です。一たび、大雨が降れば、山からの流出した土石流や山崩れで集落自体が飲み込まれる可能性が充分あります。また、地震による孤立化も予想されます。

【2】区民の防災活動への参加状況はどうでしょうか？

区民の皆さんが団に組織的に加入している強い意識があるので、特段の理由がない限り、参加されています。

【3】防災リーダーに必要なものとは？

組織化・活性化や運営面をどのようにうまくリーダーシップをとってやっていくかも大変重要ですが、それ以前に自分が住む「地域が好きか」「地域住民が好きか」という強い思いが必要です。

【4】村の消防団との連携や関係はどうでしょうか？

桃俣地区と隣の区とで3分団が配備されています。災害の予想・発生があれば、消防団との連携は、重要で、その指揮下で行動します。

【5】団の特徴的な活動は何でしょうか？

特徴的な活動といえば、団員や区民が組織員として当たり前に関防訓練等に参加するという強い認識をもっている点です。例えば、介護が必要な方にもご協力をいただき、安否確認や救出訓練に参加していただいています。防災だけでなく、いろんな活動を通じて、「地域づくり」が出来ていることから可能になると思います。

桃俣防災団では、各団員が改善計画を提出し、定期的に上記の防災団運用細則(マニュアル)の見直し、それを基に下記の活動計画を策定しています。

平成22年度桃俣防災団活動計画

月日	活動事項	備考
4 25	総会	1, 昨年度報告、役員選出、本年度計画 2, 防災資材(担架)の配分
5	1 第1回改善意見提出日	防災団運用細則(案)の改善意見提出先:各班长又は事務局長
	23 消火水利点検	消火栓、水利箇所点検(各班で実施)
7	1 第2回改善意見提出日	防災団運用細則(案)の改善意見集約提出先:各班长又は事務局長
	3 図上訓練 器具取扱	団運営細則案の周知:台風シーズンへの備え。対象:役員 司会進行:事務局
8 1	避難及び避難誘導要領の確認	防災団運用細則(案)(配布済)に基づき確認(各班で実施)
10	10 最終改善意見提出日	防災団運用細則(案)の改善意見提出先:各班长又は事務局長
	17 役員会	防災団運用細則(案)の修正案を提示・審議・承認・制定時期の検討
11 3	講習会	1, 地震体験(車)(宇陀消防東分署) 2, 上記訓練が出来なかった場合は、「発災時の行動要領について」(防災団運用細則の説明) 対象:区民

【6】宝くじ助成での防災資機材の活用は？

区や行政での予算確保が困難な中、団の組織化はできたものの、活動や災害に活用する資機材が入手できない状況でした。この度の助成により、区の防災訓練等で、有効に活用しています。

【編集後記】

桃俣防災団は、自衛隊OB等がおられ、活動されています。いつ災害が発生しても、よりよい危機意識をもっている地区だと感じました。また、団長以下、区民全員が「地域が好き」「地域住民が好き」だからこそ、地域防災力向上につながっているのだと感じました。(山)

御杖村総務課 防災担当者からの一言

桃俣防災団は村で最初に結成された自主防災組織です。組織の立ち上げから、活動内容に至るまで、はじめてのことばかりで、最初は大変ご苦労されておりましたが、今ではより実践的な訓練、防災意識の高揚と地域一丸となって取り組まれています。昨年の台風襲来時には、雨風ともピークになる前に地域の災害時要援護者全員の避難を完了させるなど、その行動力に驚かされました。今後、桃俣防災団の取り組みを他地域の自主防災組織へも紹介し、村の地域防災力の向上につなげていきたいと思っています。